

平成15年4月4日
株式会社 新生銀行

新生サービサーの住宅ローンプライマリーサービサー格付取得について ～フィッチ・レーティングスよりレベル3+を取得、当該カテゴリーでは日本初～

当行連結子会社である新生サービサー(商号:新生債権回収株式会社)は、フィッチ・レーティングス(以下、フィッチ)より、住宅ローンのプライマリーサービサー(Residential Mortgage Primary Servicer)としてレベル3+(RPS3+(JPN))の格付を取得いたしました。当該カテゴリーでの格付取得は日本初となります。

今回の格付は、同社の住宅ローンに対するサービシング能力ならびに投資家に対するレポーティング能力が評価されたものです。同社は、2002年11月にフィッチより、コマーシャル・モーゲージ・スペシャルサービサー格付(CSS3+(JPN))を取得しており、今回の格付取得により、プライマリー(正常債権)、スペシャル(不良債権)とフルラインのサービシング機能について高い能力を有するサービサーとしての評価を受けたこととなります。

証券化業務において、サービシング機能は不可欠なものでありますが、当行は、同社のサービシング機能を活用し、自らの証券化業務のみならず、グループ外の証券化案件の受託など、ビジネスの拡大を図ってまいります。

【新生サービサーの概要】

商号 : 新生債権回収株式会社
本店所在地 : 東京都港区新橋一丁目18番16号
設立年月日 : 平成13年10月19日
営業許可 : 平成14年1月21日 法務大臣許可 第63号
資本金 : 5億円
代表者 : 取締役社長 関 敦彦
受託債権残高 : 約2,800億円(含むバックアップサービシング)

以 上